

吉原・歌川のレポート 2010年2月

sakuma さんより、吉原・歌川のレポートをいただきました。 10年くらい前になりますが、いい子いたんだよなあ。。 それ以来、足が遠のいてます。最近是人妻&熟女の店という宣伝文句のよう ですが、、

■ 2月某日

ふとWEBページを見ていると気になる女の子を発見してしまいました。 自分で決めたとかそんなのではなく、なんと言ったらいいのでしょうか・・・ ちょっとうまくは言えないんですがw ずっと待っていた人、そんな感じで久しぶりにお店に電話をして予約をしまったww お店は「歌川」です。予約してから歌川スロットに挑戦したのですが、揃わ なかったww

■ いそいそと浅草の駅へ向かいます。

ところが、浅草までの到着に時間がかかってしまい、予約時間から5分遅れ で浅草到着。公共交通を使っていたので電話もできず、降りた瞬間慌てて電話。「すみませんでした！」と最初に詫げる。 店員さんは特に怒った様子もなく、「5分程でお迎えにあがります。」と言 う事で車を待ちます。 馴染みの某店の場合「遅れるなら言ってくださいよ～」と至極常識的な事を言われつつ怒られるのだが、そんな素振りがなくちょっと安心&申し訳なさ。 ほどなくしてお店に到着。

■ お店

待合室に通され、ちょっと幅の狭い一人掛けのソファに座ります。 今日のコースは・・・ってことで、予約の通り60分コース、インターネット見たって事で早割キャンペーン対象。総額60分/15Kをそこで支払います。 支払いを済ませ、じっくりとなかの様子でも見ようかと思ったのですが、な にせ予約していたものですがすぐにご案内となりましたw

■ 階段下でご対面。

写真の印象通りでした。この店の謳い文句にもある「人妻&熟女の店！」もう偽りなしですw 階段で2Fのお部屋へと向かいます。部屋はそこそこの広さ。汚いと言う印象はなかったです。 入るなり姫は丁寧に挨拶をしてくれた後、いつもの言葉を聞きます。「ここは初めて？」→ Yes 「今日はお休み？」→ Yes 「寒いねー」→ Yes 「なんで私を指名してくれたの？」 正直な所は言えなかったので「インターネットで見て」と答える。 ここで姫によるフルアシストで服を脱がされる。「こんなおばさんでもいいの？」と言う質問に「最近の若い子と話が合わなくて、私はこう見えてもXX歳なんですよ。」 と言うと、100%言われるお決まりの反応「えー、見えない！！」 ってことで、年齢はそれほど離れていないと言う事を理解していただいたよ うです。

■ さっそく

この間、全裸にバスタオル。 で、股間に姫の手がわしわしと動く。しかし愚息の反応はイマイチwww 程なくしてちゅー。べろちゅー。姫のおっぱいに手を入れる。 そこそこの大き

さですが、やはりタレ気味。乳首も大きめ。姫は脱ぐ。「あー、気持ちいい・・・。」と言う姫。しかし愚息の反応はイマイチwww 着物っぽい衣服(もんぺ?作務衣?っぽい感じ)の上を脱ぎつつ、姫が股間に顔を埋めてくる。ぱく・・・っと愚息がねぶられる。我が息子、がんばって大きくなってくれ・・・と願うw しかし、さすが年季と言うかなんと言うか・・・上手です。愚息MAXですw 「マットとベット、どっちがいい?」と聞かれ「時間もないのでベットで。」と答える。あれ? sakuma はマット好きなのになんで?とか思わないでくださいwww

■速攻

するとそのまま横になるように言われる。即即です。で、姫はするりと下も脱ぎます。そのお姿は週刊現代とか週刊ポストとかの熟女AVの広告とか、熟女ヌードピンナップのそれ、そのまんまです。姫がちらちらと舌を這わせます。うん、上手。上手なんですよwww ここは目を閉じます。いろんな意味を込めてw でFになった時、奥の方までしゃぶります。うん、上手です。瞳を閉じた効果もあり愚息MAX。「うふ。たべちゃおー。」って事でそのまま騎乗位。もちろん目は閉じてます。うん、気持ちがいい。お、もういきそうだ・・・って時。「あ、もういきそう。」と言うと、「だめー。。」と言われるが余裕で出しました。「もう、だめって言ったのに・・・。」「あはは、ごめんなさい。」で、後始末。

■お上がり

その後お風呂に入り、体を洗ってもらい、お茶を飲む。その間はずっと会話。えっちい事はなし。会話は盛り上がりました。さすが世代が近いだけですwww で、程なくして終了となり、上がり部屋に通されアンケートを書きます。帰りの車は断りました。ちょっとそのあたりを散歩しようと思ったのでw ってことで、看板に偽りなし。人妻&熟女の店でした。

■ロビンの感想

若い子に飽きたら、また行ってください。お仕事はちゃんとしてるでしょうし、悪くないと思いますよ。